

経営比較分析表（平成28年度決算）

神奈川県 真鶴町

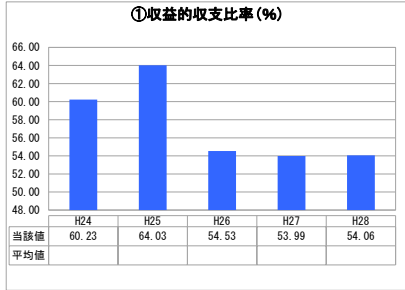
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cb3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	17.52	100.00	3,341

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,548	7.05	1,070.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,317	0.23	5,726.09

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



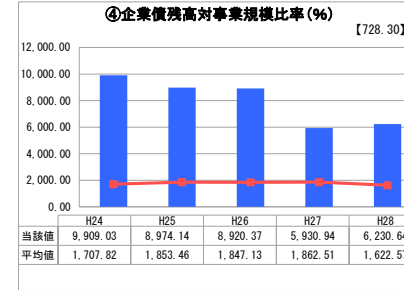
「単年度の収支」



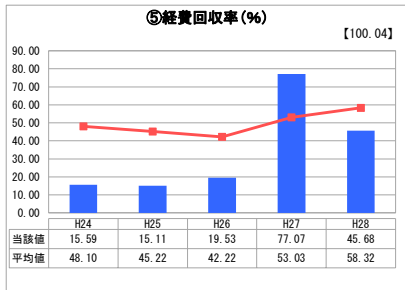
「累積欠損」



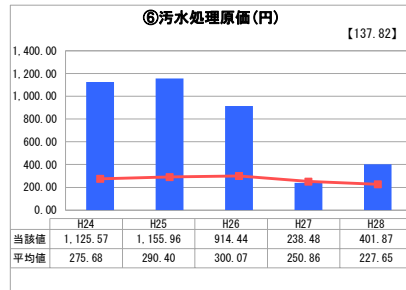
「支払能力」



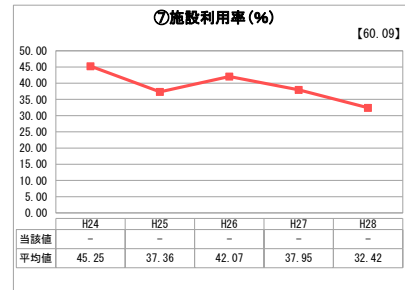
「債務残高」



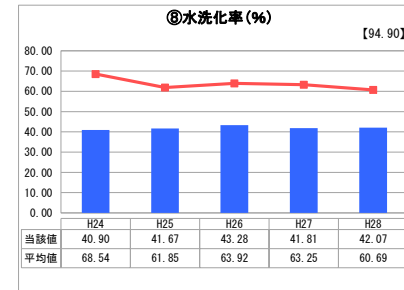
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

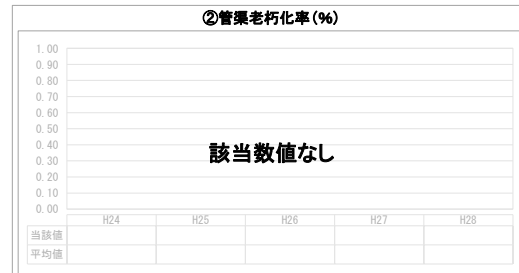


「使用料対象の捕捉」

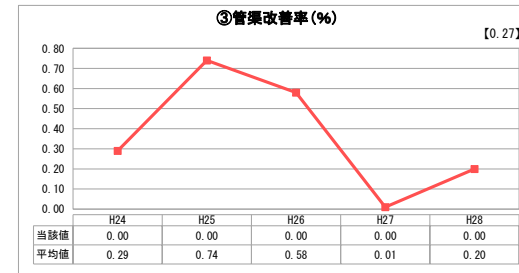
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

当町の下水道事業は平成18年度からの供用開始のため他の団体に比べ年数経過しておらず、整備普及もこれから更に進めていく状況であります。当町の下水道整備区域面積は他団体より狭いものの、地形的に高低差が多く、狭隘な道路などにより建設改良費が割高のため資本費が著しく高額になっています。また、大規模な工事が実施できず、進捗度合いも緩やかなものとなっております。しかしながら、今後においては既に策定済みのアクションプランや経営戦略に基づき新たな事業計画により面整備を展開し多くの世帯で下水道が利用できるよう進め、併せて未接続の世帯に対して個別訪問による勧奨やHPなどによる周知を行い普及に努めていきます。併せて、接続に結びつくような施策についても検討していきます。

2. 老朽化の状況について

当町的主要な施設は中継ポンプ場と管渠で、管渠については平成5年から、中継ポンプ場は平成14年からの事業着工であるため、耐用年数を経過しているものではなく、現時点においては老朽化等による修繕や改修の事象はありません。今後は効率的な事業運営を図るために、ストックマネジメント計画を策定し、機器・管渠等の長寿命化と効率的な更新が図られるよう対応していきます。

全体総括

当町の下水道事業は、供用を開始してまだ年数も浅いことから、企業債残高対事業規模比率等は類似団体平均値に大きく離れていますが、今後も面整備を進め水洗化の推進を図ります。また、未接続となっている家庭に対しても個別訪問やHPによる周知をするなどの普及活動を行い水洗化率向上を図っていきます。なお、使用料の見直しについては上水道料金と併せ、おおむね3年毎に審議会により近隣自治体の体系等を参考に検討を図っております。施設の老朽化に対しては事業計画の策定に併せストックマネジメント計画及び経営の健全性の向上や経営の計画性・透明性の向上を図るため、地方公営企業会計の適用についても検討してまいります。なお、経費回収率及び汚水処理原価の変動については、高資本費対策経費に対する繰入基準額の減によるものです。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。